

くさみ
朽網校区

小地域福祉活動第一次計画

2024~2028



《もくじ》

第1章	計画策定にあたって	1
第2章	朽網校区の現状と課題	1
第3章	計画体系	2
第4章	計画の推進	4



ふれあいネットワーク

朽網校区社会福祉協議会

第1章 計画策定にあたって

1 計画の性格

(1) 住民発信の行動計画

この計画は、朽網校区に住む人たちの「生活」を支えることを活動の原点とする計画であり、朽網校区の様々な福祉課題を解決するために、住民や民間団体が将来の見通しを持って計画的に活動しようとするための民間の行動計画です。

(2) 北九州市及び北九州市社会福祉協議会・小倉南区社会福祉協議会と協働する計画

この計画は、北九州市及び北九州市社会福祉協議会・小倉南区社会福祉協議会の計画と連携しながら地域福祉活動を進めていく計画です。

(3) 朽網校区社会福祉協議会の活動指針となる計画

この計画は、社会福祉協議会が地域福祉推進の中核的な団体としての方針や発展強化の道筋を明らかにする性格を有します。

2 計画の期間

令和6年度～令和10年度までの5か年とします。計画の期間中、地域を取り巻く状況に大きな変化があれば、見直しを行います。

第2章 朽網校区の現状と課題

1 地域の特性や福祉課題

朽網校区は、景行天皇伝説の帝踏石や、古戦場跡などの遺跡があるほか、日本有数のカブトガニの生息地である曾根干潟に面するなど、文化、自然両面の遺産がある地区です。平成18年に（新）北九州空港が開港したことにより、流通、製造関連企業の集積も進んでいます。

戦後から相次いでニュータウンが建設され、市内でも人気のベッドタウンとなりました。しかし、現在、建設から一定の年月が経ったニュータウンでは少子高齢化が顕著に進んでいることや、食品や日用品を置く商業施設が少ないことから、「買い物難民」化する高齢者がいるなど、校区内では生活上の課題が少しずつ明らかになっています。

2 人口・世帯数・高齢化率（推計値）

	2003（H15）年	2013（H25）年	2023（R5）年
人口	5,868	6,066	5,261
世帯数	2,225	2,644	2,539
高齢化率	19.3%	29.0%	35.0%

※各年3月31日住民基本台帳による朽網西1～6丁目の数値

3 社会資源

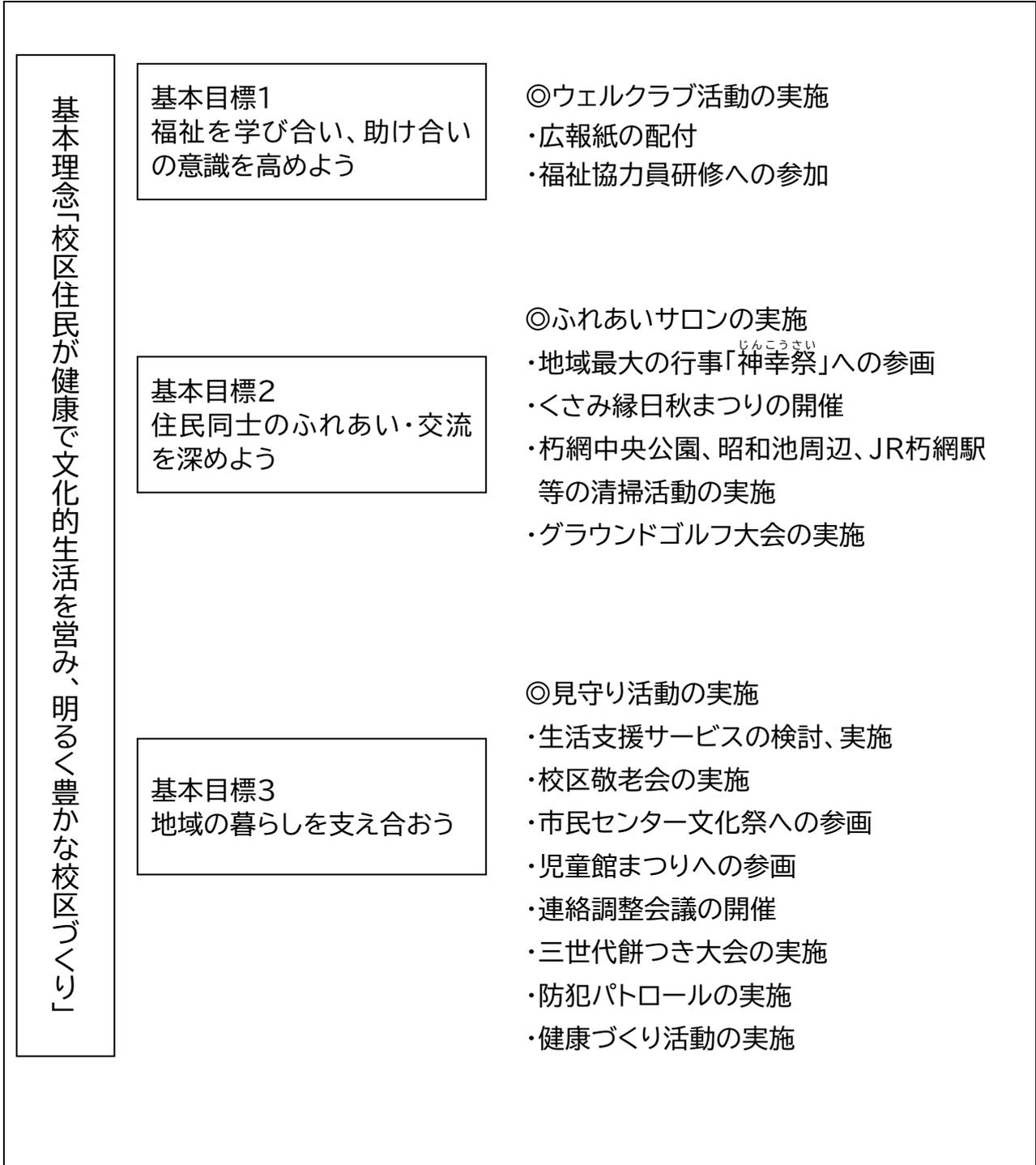
小中学校	朽網小学校、南曾根中学校
主な福祉施設	「介護老人保健施設さくら苑」、「グループホーム・もみの木」、「デイサービスよつ葉」、「小規模共生型デイサービスはなそらの家」、「放課後デイサービスきゃんでいー」
主な商店等	ゆめマート朽網

第3章 計画体系

1 基本理念「校区住民が健康で文化的生活を営み、明るく豊かな校区づくり」

2 実施項目（体系図）

◎…重点項目



3 重点実施項目の背景と取組

(1) ウェルクラブ活動の実施

朽網小学校4～6年生児童の希望者を対象にした取組。

福祉のこころを育むことを目的に、役員が活動内容を立案し、敬老会の案内状配付や秋祭り参加など、校区内で活動しているほか、バスを使用した校外学習等も実施している。今後も、時代に即応した活動を続け、「福祉のこころを育む」ための取組を行う。

また、塾や習い事など、子どもの校外生活が多様化し、子どもと地域社会に一定の距離がある今、子どもやその保護者と、校区内の活動者との交流を深めるためにも力を入れて取り組みたい。

(2) ふれあいサロンの実施

毎月1回市民センターで実施しているサロン活動。参加者同士の交流のほか、認知症・介護予防センターや民間団体などの出前講演、有志による手づくり料理の提供など、活発に活動している。運営は、地域の有志の手で行われ、「助けられたり助けたり」の「地域共生社会」の様相を呈している。

今後、高齢化がいつそう進むことが予測されているなか、人の集まりやすい市民センターで行われるこうした介護予防につながる取組を、発展的に継続していきたい。

(3) 見守り活動の実施

福祉協力員を中心に実施しているふれあいネットワーク活動の中心的な取組。70歳以上の一人暮らし高齢者を対象とし、定期的な訪問活動を行っているほか、買い物や散歩途中でのいわゆる「ながら見守り」で、地域の高齢者を気にかけて、気になることがあれば関係機関につないでいる。こうした見守りの取組について、福祉台帳を用いた情報整理も行っている。

安心して住み続けられる朽網校区とするため、民生委員や町内会長との連携のもと、地域福祉活動の柱として、継続的に実施する。

第4章 計画の推進

1 計画の承認と周知

- ① 朽網校区社会福祉協議会総会等を通じた社会福祉協議会活動者への計画の承認と周知
- ② 計画を実施する上で必要な関係機関・団体への周知・協力依頼

2 計画を推進するための体制

(1) 計画の推進

計画を推進していくために、朽網校区社会福祉協議会では、必要に応じ、以下のような計画の進行管理を行います。

- ① 関係機関・団体との連携
- ② 計画内容の具体的な計画、実施
- ③ 進行管理の実施

(2) 計画の評価

計画期間の中間時点では計画全体の中間見直しを、最終年度には総括評価を行います。

3 第二次計画の策定

第一次計画の推進状況を踏まえて、第二次計画の策定期間に第二次計画策定委員会を設置し、次期計画策定に向けて協議を進めていきます。

4 朽網校区小地域福祉活動計画策定委員

	氏 名	役 職
1	深田 清司	社会福祉協議会会長、民生委員児童委員協議会会長、自治連合会副会長、まちづくり協議会副会長
2	石田 環	社会福祉協議会副会長
3	白石 真貴子	社会福祉協議会副会長
4	西田 美加世	社会福祉協議会ふれあい部会長
5	目良 公昭	自治連合会会長、まちづくり協議会会長

★社会福祉協議会のイメージキャラクター★



『プチボザウルス』 (Petit vo saurus)

Petit (プチ：ちっちゃな)

Volunteer (ボランティア)

Saurus (サウルス≡恐竜)

朽網校区社会福祉協議会

〒800-0233 北九州市小倉南区朽網西 3 丁目 6 番 39 号 朽網市民センター内
TEL 093-471-8566 FAX 093-471-8680

小倉南区社会福祉協議会

〒802-8510 北九州市小倉南区若園 5 丁目 1 番 2 号
TEL 093-951-5388 FAX 093-951-5391

北九州市社会福祉協議会

〒804-0067 北九州市戸畑区汐井町 1 番 6 号ウエルとばた内
(代 表) TEL 093-882-4401 FAX 093-882-3579
(地域福祉部) TEL 093-882-4425 FAX 093-873-1351
<http://www.kitaa-shakyo.or.jp/>